

## 特色ある活用事例

上野原縄文の森では、9500年前の住居跡にともない、調理用施設も発見されています。

縄文人がどのように調理していたのかを楽しく学ぶことができます。体験人数及び天候に制限がありますが、ぜひチャレンジしてみてください。(要予約)

- 1 オリエンテーション
- 2 縄文時代の調理について (上野原縄文の森職員の説明 約5分)
- 3 火おこし体験 (15分)
- 4 おこした火で、連穴土坑(くん製施設)の火をおこす。
- 5 食材(卵等)を入れる。
- 6 交代で火の番をする。
- 7 できあがるまで(約60分)、アクセサリ作り等を行う。
- 8 できあがった食材を食べる。
- 9 後片付けをする。



## 高校の活用事例

(普通科系)

奈良・平安時代の南九州の歴史学習(隼人や大隅国分寺)や、9500年前の縄文人の暮らしについて学習。

- 1 隼人歴史民俗資料館, 隼人塚史跡館
- 2 大隅国分寺跡
- 3 上野原縄文の森

(実業系)

県の工業技術センターやテクノパークでの最先端の技術を持つ企業(物づくり日本一)の見学と、縄文文化の学習。

- 1 県工業技術センター
- 2 テクノパークの企業  
(物づくり日本一の企業2社がある)
- 3 上野原縄文の森

各企業には事前に許可を取ってください。